

令和6年1月12日

保護者の皆様へ

見能林小学校長 岩川 計成

教育活動に関するアンケートについて（結果報告とお礼）

本校の「教育活動に関するアンケート調査」をお願いしましたところ、お陰様で93%のご回答をいただくことができました。アンケートの結果から明らかとなった教育活動の成果と課題を真摯に受け止め、次年度の教育活動に活かしていきたいと思っております。それでは、結果をご確認ください。

1 回答のポイントが高かったもの（「できている」「だいたいできている」の合計が70%以上）

- ①お子さんは、楽しい学校生活を送っている。(80%) 昨年度と同率
- ②お子さんは、「読み」「書き」「計算」などの基礎学力が身につけている。(約71%) 昨年度比 -9%
- ③お子さんは、人を思いやる心や自然を大切にする豊かな心が育っている。(約80%) 昨年度比 -5%
- ④家庭では、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣が身につくよう努めている。(74%) 昨年度比 -3%
- ⑤学校は、子どもの生命・安全を守るための安全教育や防災教育に取り組んでいる。(71%) 昨年度比 -6%

2 回答のポイントが低かったもの（「できている」「だいたいできている」の合計が60%以下）

- ①お子さんは、家庭や地域であいさつができています。(59%) 昨年度比 -17%
- ②お子さんは、体調が悪いとき以外は歩いて登校している。(60%) 昨年度比 -5%
- ③お子さんは、家庭でよく読書をしている。(31%) 昨年度比 -1%
- ④家庭では、インターネット（SNSやスマホ）やゲームなど、使い方やルールをきめている。(55%) 昨年度比 -4%
- ⑤家庭では、学習習慣が身につくよう努めている。(58%) 昨年度比 -3%

3 考察

本校の児童は、全体的に落ち着いた学校生活が送れています。ご家庭での教育支援を心強く感じるとともに、本校の教育活動へのご理解とご協力に感謝しております。

5択回答による結果は、「どちらでもない」の回答割合も一定数ありましたが、70%を上回る高評価は、6/20の質問項目に限られました。昨年度比によると全体的にポイントが下降した印象が否めません。一方で、児童回答の方では、70%を超える高評価が19/21項目となっており、保護者と児童の各項目への認識の差が大きいと考えられます。

昨年度の結果との比較では、残念ながら「あいさつの習慣」や「お子さんは、学校以外でも感染症や熱中症を予防する行動ができています。」が10%超減となっています。人間関係づくりの基本である気持ちのよいあいさつの習慣化と体調管理への意識と態度を養うことについては、ご家庭の協力なしでは達成は不可能です。

さらに、主な課題としては、昨年度と同様に「読書力の低下」、「インターネットやゲームの使い方」、「家庭学習の習慣定着の不十分」が挙げられます。読書を通して想像力や語彙力を獲得できることは、科学的に証明されています。家庭で週末の図書館利用や短時間での読み聞かせ等、読書時間の確保を願うところです。さらに、家庭でのインターネットやゲームの使用時間については、ルールを確実に守る習慣を養うことが肝要です。お子さんが納得できるルールづくりを話し合いを通して決め、守らせるようにしてください。お子さんの大切な心身の成長期です。ますます家庭・地域と連携を図り、教育活動を実りあるものにしていきたいと思っております。今後とも、学校教育活動にご理解とご協力をよろしく申し上げます。